

ニリンソウ と 武蔵野崖線

ニリンソウ自生地～赤塚城址～氷川神社～菅原神社～百々向川緑道



赤塚公園大門地区は都内最大のニリンソウの自生地といわれています。
この花は2週間ほどの開花期の後は地中で育つ、キンボウゲ科の多年草で
スプリング・エフェメラル (Spring ephemeral=春の妖精) とも呼ばれます。
ニリンソウの咲く環境を保つためには、斜面地や林床の管理も必要ですが、
湧水を生み出す崖線上の台地の透水性も関係しています。

2015.4.11.土 集合12:30

都営三田線 新高島平駅 改札口前

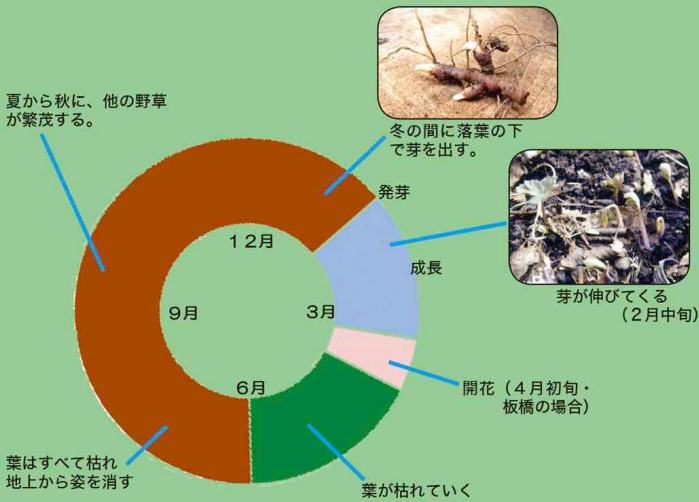
出典: Google earth

参加費無料・事前申込不要

ニリンソウの1年。

ニリンソウは毎年2週間程の開花期を終えると、花も葉も枯れ、地上から姿を消し、根茎だけで生きています。

春の落葉樹林の林床で花を咲かせる植物を“スプリング・エフェメラル”と呼んでいます（エフェメラル：はかなさ）。春植物や春の妖精などと訳され、ニリンソウの他には、カタクリ、ジロポウエンゴサクなどがあります。



知っていますか？

23区でニリンソウは 準絶滅危惧種

「東京都レッドリスト」（本土部・2010年版）では、ニリンソウは23区部において、「準絶滅危惧種」にランクされました。現時点での絶滅の危険度はまだ小さいのですが、今後は環境の変化によって「絶滅危惧種」にランクが移行する懸念があります。なおニリンソウは、千葉や高知など他府県においても以前からレッドリストに掲載されています。

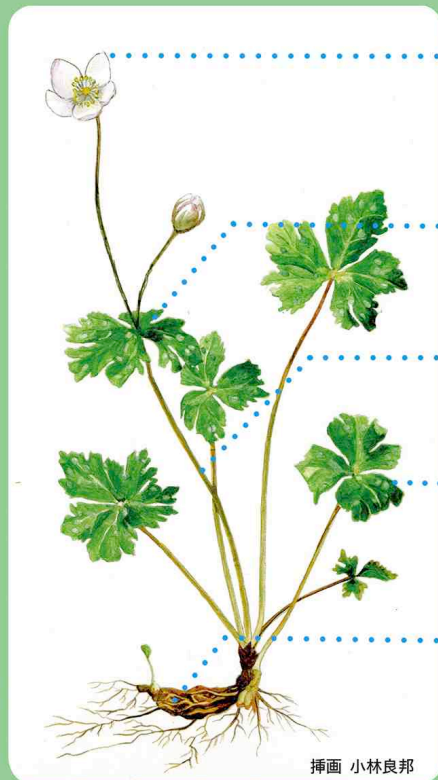


ニリンソウってどんな花？

学名：Anemone flaccida F.Schmidt

キンボウゲ科イチリンソウ属の多年草で、日本各地の山野に自生します。開花期は4～5月頃（板橋では4月初旬）で、それ以外は地上から姿を消します。

和名は2輪の花をつけることに由来し、1または3輪の場合も見られますが、別種でイチリンソウ、サンリンソウもあり、また中国や韓国などにもあります。

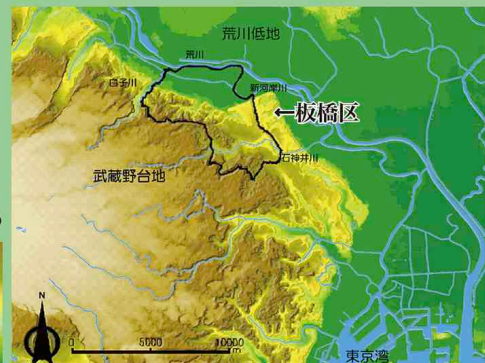
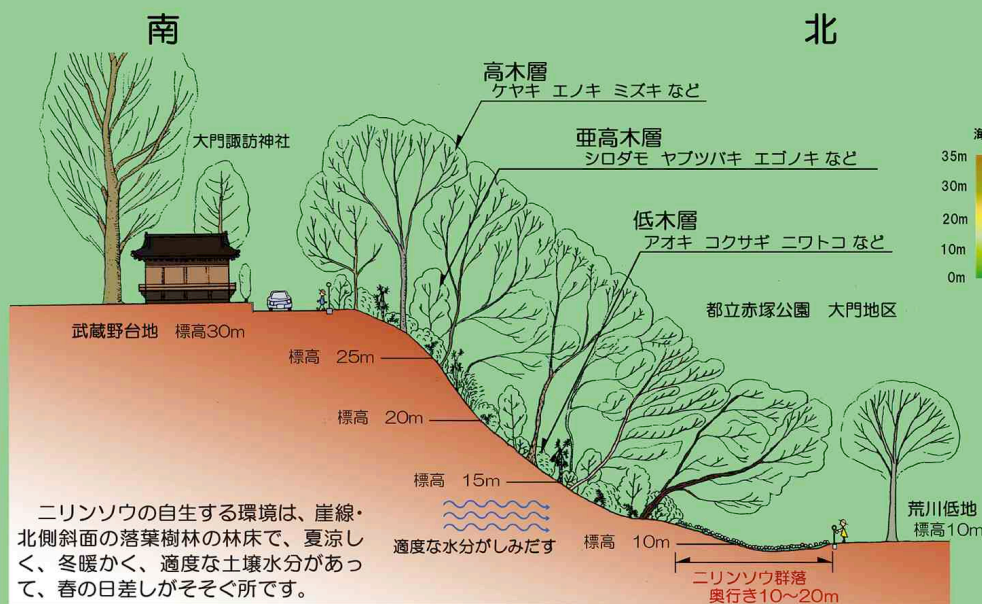


- 花**
花弁に見えるが実はがく片で、普通は5枚。白色で外側はときに紅を帯びる。1輪ずつ順に咲き、夜は閉じる。1.5～2.5cm大。
- 茎葉**
3枚が輪生する。柄はない。近縁のイチリンソウ・サンリンソウは有柄。
- 花茎**
根茎から1～3本出る。分枝はしない。高さは15～30cm程。
- 根生葉**
根茎から数枚出る。長い柄と、表面の白いまだら模様の特徴。3つに深く裂け、さらに縁に切込みがある。
- 根茎**
地表近くにあり、多肉質で5cm程の大きさ。節やひげ根がある。土壌はやや湿り気が必要。

挿画 小林良邦

この面は板橋区「ニリンソウのパンフレット」より構成しています

ニリンソウが自生する環境。



板橋区の地形は、武蔵野台地と荒川の低地で成り立ち、その間には崖線が形成され、斜面林や湧水点など貴重な自然資源が残っています。

特に都立赤塚公園大門地区には、都内最大のニリンソウ自生地をはじめ武蔵野の野草が豊富な自然環境が作り出されています。

都市化の進行によって、崖線の湧き水が減少しています。地下水の保全が求められます。

また落葉樹林は、放置すればアオキやシロダモなどの常緑広葉樹が低木層に進出し、「遷移」が進み、うっそうとした暗い林になってしまいます。

ニリンソウの自生する環境の保護が必要です。

崖線の春 ●ニリンソウと同じ時期に見頃を迎える野草たち。



オドリコソウ (シソ科)



ジロポウエンゴサク (ケマンソウ科)



ムラサキケマン (ケマンソウ科)



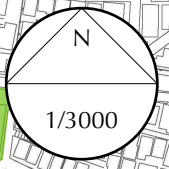
ホウチャクソウ (イヌサフラン科)



ウラシマソウ (サトイモ科)



ヤマビキソウ (ケシ科)



至新高島平駅



氷川神社
上赤塚富士塚
氷川神社の参道並木
(区登録記念物)

赤塚緑地
赤塚公園
溜池

赤塚城本丸跡

梅林

沖田農園

開戸オニグミ

モッコク

赤ばっけ

赤ばっけ

美術館

赤塚八丁目

馬坂

諏訪神社

夫婦イチョウ

不動の滝

滝の上

中丸

乗蓮寺

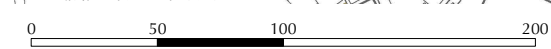
東京大仏

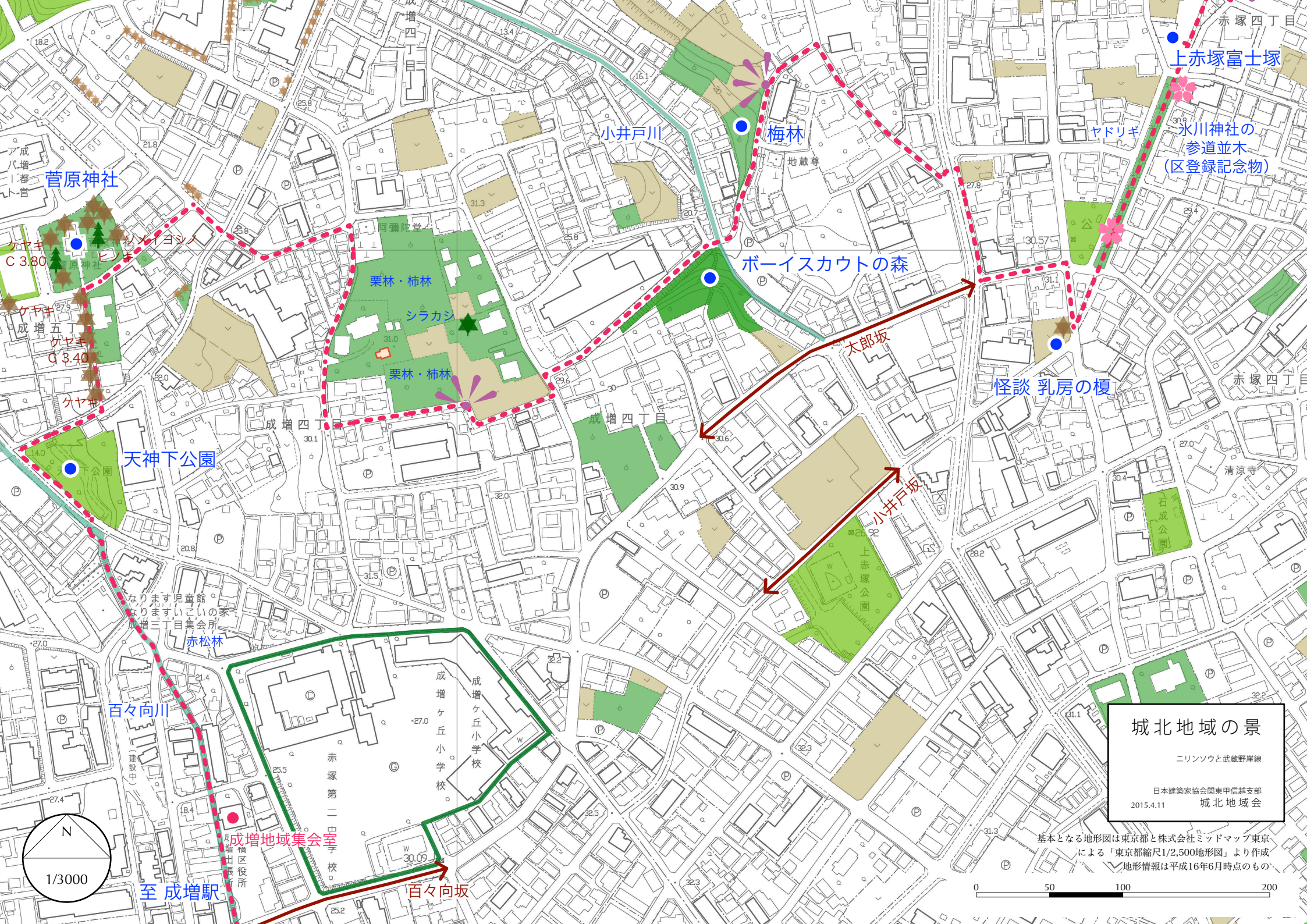
コブケヤキ

松月院

城北地域の景
ニリンソウと武蔵野産線
日本建築家協会関東甲信越支部
2015.4.11 城北地域会

基本となる地形図は東京都と株式会社ミッドマップ東京
による「東京都縮尺1/2,500地形図」より作成
地形情報は平成16年6月時点のもの





城北地域の景
 ニリンソウと武蔵野崖線
 日本建築家協会関東甲信越支部
 2015.4.11 城北地域会

基本となる地形図は東京都と株式会社ミッドマップ東京
 による「東京都縮尺1/2,500地形図」より作成
 地形情報は平成16年6月時点のもの

